【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公開番号】特開2009-122869(P2009-122869A)
【公開日】平成21年6月4日(2009.6.4)
【年通号数】公開・登録公報2009-022
【出願番号】特願2007-294893(P2007-294893)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６１０

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月2日(2010.11.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザの入力操作を取得して、アプリケーションの状態を変更するために複数の動作変更コマンドを該アプリケーションに入力可能な入出力装置であって、
ユーザに対して振動を出力する振動手段と、
ユーザの入力操作を取得する操作手段と、
アプリケーションの状態を変更するための動作変更コマンドに対応付けられた振動状態で上記振動手段を振動させる振動制御手段と、
上記操作手段がユーザの入力操作を取得したときの上記振動手段の振動状態に対応付けられた上記動作変更コマンドに従って、上記アプリケーションを制御するアプリケーション状態制御手段と、を備えたことを特徴とする入出力装置。
【請求項２】
上記動作変更コマンドは、ユーザによって指定されたアプリケーションの状態を示す状態指定情報であることを特徴とする請求項１に記載の入出力装置。
【請求項３】
上記振動手段が第１の動作変更コマンドに対応付けられた振動状態での振動を開始してからの時間を計時する計時手段をさらに備え、
上記振動制御手段は、上記計時手段が計時した時間が予め設定された時間を超えるまでに上記操作手段がユーザの入力操作を取得しなかった場合、上記振動手段の振動状態を上記第１の動作変更コマンドとは異なる第２の動作変更コマンドに対応付けられた振動状態に変更することを特徴とする請求項１に記載の入出力装置。
【請求項４】
上記振動手段は、複数の領域に区画されていると共に、該区画毎に独立して振動を出力することを特徴とする請求項１～３の何れか１項に記載の入出力装置。
【請求項５】
上記振動手段のユーザが振動を知覚可能な振動面にはカバー部が設けられており、
上記カバー部は、上記振動手段の区画に対応して上記振動面に対して略垂直に配置された突起部と、隣接する上記突起部を接続する伸縮性を有する接続部と、を備えたことを特徴とする請求項１～４の何れか１項に記載の入出力装置。
【請求項６】

請求項１～５の何れか１項に記載の入出力装置を備えた電子機器であって、
上記アプリケーション状態制御手段によって制御されるアプリケーションの状態で、上記アプリケーションを実行するアプリケーション実行手段を備えたことを特徴とする電子機器。
【請求項７】
ユーザ操作を取得したとき、上記入出力装置を起動させる起動手段をさらに備えたことを特徴とする請求項６に記載の電子機器。
【請求項８】
ユーザに対して振動を出力する振動手段と、
ユーザの入力操作を取得する操作手段と、を備えた入出力装置の制御方法であって、
アプリケーションの状態を変更するための動作変更コマンドに対応付けられた振動状態で上記振動手段を振動させる振動制御ステップと、
上記操作手段がユーザの入力操作を取得したときの上記振動手段の振動状態に対応付けられた上記動作変更コマンドに従って、上記アプリケーションを制御するアプリケーション状態制御ステップと、を含むことを特徴とする入出力装置の制御方法。